

KABANETへのアクセス

<https://www.kabanet.org/>



ID:KABA
(半角大文字)
PW:2019
(半角数字)

くらしの相談窓口 (全トに移行しました)

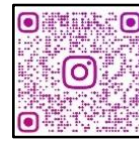
<http://kurashino-soudan.jp>



どこの地域でどのような提案があるのか検索可能です！

田中祐二 SNS

Instagram facebook



討議資料

議員、地域活動を紹介しています。



明るく いきいき暮らせる 安全・安心なみよし市を目指します



みよし市議会議員

田中 祐二

発行日：令和8年4月23日
発行所：トヨタ自動車労働組合
発行人：飯田 智士
編集者：田中 祐二
印刷所：(株)トヨタエンタプライズ

くらしの相談 担当者レポート No 12

くらしの相談事例

◆見通し改善による交通安全対策◆・・・金網フェンス撤去

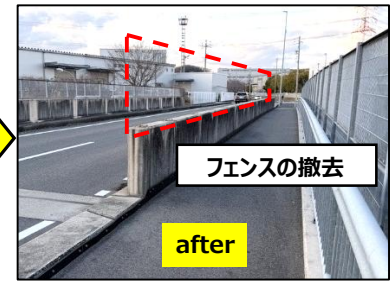
【相談者】元町支部の組合員

【相談内容】通勤で使用するT字路の交差点にて、見通しが悪く事故の恐れがあります

【相談場所】みよし市根浦6丁目付近（高速道路にかかる橋）

【対応内容】金網フェンスの撤去

対策により視認性が向上しました！



高速道路上に架かる道路に後から歩道を設置した際、既存の金網フェンスが残っていた場所です。高速道路への転落防止のためフェンス自体は必要ですが、既存フェンスについては不要と判断され、撤去に至りました。

◆枝木の剪定による環境改善◆・・・木々の伐採

【相談者】三互労組の組合員

【相談内容】河川敷の木々の枝が工場の壁を越えて落ち葉が散乱、毎日清掃に追われています

【相談場所】みよし市三好町井ノ口47（境川流域の遊歩道）

【対策内容】枝木の伐採

ご相談ありがとうございます！



当初は工場敷地内からの作業が必要との見解でしたが、現地確認の結果、敷地内に立ち入ることなく対応可能であるとのことで、業者と調整のうえ作業を実施。今後、一定の周期で維持管理を行うよう要望しております。

3月議会 報告

◆ 令和8年度 一般会計予算 ◆



予算総額279億4,000万円 前年度比19億8,400万円減 (93.4%)

◆ 重点・新規など、8年度に実施予定の主な事業 ◆ …… 3月24日可決

会派要望

ペロブスカイト太陽電池実証事業 <13,959千円>

● 2050年までのゼロカーボンシティ実現に向けペロブスカイト太陽電池の導入促進と横展開に向けて実証的に設置する。
設置場所：城山保育園の倉庫壁面



※イメージ

中学校校外水泳授業実施事業 <14,545千円>

● 近年の異常な気温上昇による、炎天下での熱中症事故を防ぐため、中学校の水泳授業を民間スイミングスクールのプールにて実施する。
● 学校プールの維持管理費を削減する。



会派要望

デマンド型交通実証事業 <18,176千円>

● 公共交通の利用が不便な地域を対象に **AIを活用したデマンド型の乗合移動サービス**の実証実験を限定した時間、100円/回で実施する。
実証実験ルート：あざぶの丘～三好ヶ丘駅



アジア競技大会市民観戦事業 <900千円>

● 三好池で開催される、第20回アジア競技大会の「カヌーカヤック競技」の観戦チケット(4日間400人)を抽選で配布し、市民がスポーツの素晴らしさや感動を得る機会を創出する。



黒笹駅駐輪場整備事業 <42,000千円>

● 自転車利用者が増加したことで、黒笹駅周辺にある既存の駐輪場だけでは収まりきらず、通路周辺にまで自転車が溢れている。このため、駅前の歩道部分に新たな駐輪場を設置する。



子育て見守り訪問事業 <4,564千円>

● こどもの権利を守る観点から、迅速かつ適切な支援を図るため、生後5か月から1歳6か月未満までの乳幼児がいる家庭の訪問回数を **現行の3回から最大5回まで拡大**する。こども商品券も配布する。



◆ みよし市職員等のハラスメントの防止等に関する条例 ◆ が制定されました！

【目的】 ハラスメントの防止と排除、並びに発生した場合の適切な対応に関する必要事項を定め、**職員等の人格と尊厳を守り、職員が能力を十分に発揮できるよう、良好な職場環境の実現を図る**ために、制定。

ポイント

【所感】

近年、他自治体でもハラスメントの報道が見られる中、「**自分がそのつもりがなくても、相手の環境や気持ちを壊していないか**」と立ち止まって考える姿勢が大切だと感じました。本条例と議員提出の「みよし市議会ハラスメント条例」が、**互いを尊重するより良い職場環境づくり**につながることを期待します。



一般質問

◆ 循環型社会の実現に向けた本市のごみ削減・リサイクル施策 ◆



【背景】 ごみ問題を環境分野にとどめることなく、**将来世代へつなぐ持続可能なまちづくりの基盤**となる取組であると考えます。しかしながら、日頃の議員活動を通じて、**ごみの分別や集積所の管理、高齢者のごみ出し、不法投棄**など、現場ではさまざまな課題が顕在化していると感じており、**本市の取組の現状と課題、さらには今後の方向性について確認**するため、このテーマを取り上げました。



ポイント

私自身、経済建設委員会の委員長として、年間テーマ「**循環型社会の構築**」に取り組む中で、**企業や市民、教育現場と連携**しながら、ごみ削減や資源循環を推進している先進自治体の事例を学びました。**ごみを「処理するもの」から「資源として循環させるもの」**へと捉え方を転換し、排出抑制とリサイクルの両面から取り組むことが重要であると考えます。今回の質問数全13問で、皆さんの「**行動変容**」や「**気づき**」につながればと思います。

録画リンクはこちら↓↓↓

